



# サルビア

令和2年9月14日 第19号

## 「みんなうちの子、だいじな子」 ～感染症への対応について～



上の言葉は、私が全校集会等の際に子供たちに投げかけている言葉です。私にとって、全校334名の一人一人がとてもだいじな子です。どの子も楽しく学校に来て、先生や友達と一緒に勉強や運動、様々な活動に取り組むことを通して自分を思いきり成長させ、将来素敵な人生を歩んでくれることを願っています。そのため、子供たちには「悪口や意地悪はきらい」であることを伝えています。悪口を言われたり意地悪をされたりすると、つらく悲しい気持ちになり学校への思いが失われてしまうからです。

さて、新型コロナウイルスが流行している現在、伊勢崎市では連日のように新規感染者がでており、市ホームページでは市内小学生・中学生の感染が報告されました。これからは、身近なところで感染者や濃厚接触者が確認されることが予想されます。

本校では、学校薬剤師の中村康之先生監修の感染防止対策を継続しているところですが、新型コロナウイルスは誰もが感染する可能性があります。そうしたときに大切なのは、感染した子が回復後に安心して学校生活を送れる環境をつくることであると考えます。子供たちには5月22日の学校再開に向けた分散登校初日に、新型コロナウイルスに関する差別や意地悪が起きないように指導をしました。

家庭、地域の皆様におかれましては、今後、そのような事態が発生した場合にも、「もしも自分や自分の子供だったら…」と思いを寄せていただき、普段どおりの冷静な対応をお願いします。

## 感染を広げないための健康管理について



- 同居の家族または身近な方に感染者や濃厚接触者等の確認がされたときは、学校へ連絡を入れ、感染者や濃厚接触者等への保健所からの指示に合わせて登校を控える等の対応をお願いします。この場合は「欠席」ではなく「出席停止」で対応できます。
- 登校前の検温、健康観察を継続していただき、体調不良の様子が見られるときは、登校を控え症状がなくなるまで自宅で静養をお願いします。

## 発生時の対応について



- 本校の関係者（児童、教職員）に感染の疑いが生じたり PCR 検査を実施したりした場合は、保健所の指示・指導のもと、教育委員会と協議しながら対応をします。
- 臨時休業や学級閉鎖等の対応が必要な場合は、保護者の方にメール及び通知にてお知らせします。保健所、教育委員会の判断で、児童を速やかに下校させる必要があることも予想されます。そのような際に慌てないように、インフルエンザ流行時と同様に、急に学級閉鎖等になった場合の下校の仕方や休業中の過ごし方について、お子さんと確認しておいていただきますようお願いいたします。